

# 病児保育協議会ニュース



## 間近に迫った、「施設長研修会」のトピックス

研修委員長 向田隆通

5月22日（土）の施設長研修会、23日（日）の総会が近づいてきました。まず、ご案内が遅れてしまつたことをお詫び申し上げます。

今回は、病児保育施設がなぜ増えていかないかについてを主眼において基調講演を会長の藤本先生にお願いしています。また、まだあまり公になつていませんが、平成11年度より乳幼児健康支援一時預かり事業の対象施設の拡大・実施方法の拡大（保育士派遣型）等の新たな厚生省の動きがあり、そのことについて厚生省の方に特別講演していただく予定です。

今回は分科会をやめ、全体会としてパネルディスカッション形式で各施設の形態別で運営の実際（金

額的なところ）、問題点等を討論したいと思います。

また、今までに懸案だった施設の賠償責任保険について、米子市のペアーズディサービスより提案があります。施設長研修会ですし、今回は特に運営・経営的なところが主になっています。スタッフの研修の意味合いはありませんが、大切な問題を多く含んでいます。

施設長が出席できない施設もどなたか代表者を是非出席させて下さい。今回の研修会には今から病児保育を行つてみようかと考えられている医療機関も数施設参加されると思います。

多くの皆様のご参加と活発な意見交換を期待しています。

**保護者の力で行政を動かす  
—病児保育室の必要性を問う—**

千葉市に病児保育所をつくる親の会 代表 大岡友子

千葉市の病児保育事業をめぐる経過と現状について

・・「千葉市に病児保育所をつくる親の会」の活動報告を通じて・・

「千葉市に病児保育所をつくる親の会」は97年11月に千葉市在住の保育園児の親4名で発足し、現在は会員（親）、賛助会員（小児科医、保育関係者等）合わせて120名ほどになっています。千葉市における病児保育事業をめぐる経過と現状について、会の一年半の活動を中心にご報告したいと思います。

発足当時の会員は皆、子供の病気と仕事との兼ね合いでとても困った経験がありました。自分達以外にも多くの母親達が子供の病気に困り果てたり、疲れ果てたりした経験があるのではないかと思い、そのような実態を数字として捉えたいと考えて、98年4月～7月にかけて「病児保育についてのアンケート」を千葉市在住の母親を対象に実施しました。小児科医院、保育園、幼稚園等でアンケート用紙を配布回収し、1000人以上から回答が寄せられました。回答者の就労形態別に分析したところ、仕事の有無に関わらず8割の親が「病児保育」の必要性を感じており、主婦専業も含めてどの就労形態でもほぼ8割前後のニーズがあることがわかりました。また、望ましい利用条件として重要なのは自宅から病児保育所までの所要時間であり、「20分以内」が73%と「近くなければ利用できない」と考えて

いる人が多いことが示されました。千葉市的人口は80数万人であり、厚生省の基準では8～9カ所の設置となります。せめて各区に1カ所（市内6カ所）程度の設置が望まれていると言えます。

アンケート結果に基づいて、8月に千葉市長宛に「乳幼児健康支援デイサービス事業への取り組みに向けた要望」を提出し、病児保育所を併設する医療機関に市が補助すること、保育所で嘱託医との連携により病児を預かること、等について要望しました。

その後9月と12月の議会においても、病児保育の必要性に理解を示して下さった議員に質問してもらうことができ、12月議会では、行政より「全国的な状況も調査中であるが、実施には民間医療機関の協力が必要であると考えている。医師会とも協議していきたい。」といった回答を得ました。

本年2月には、一人でも多くの人に病児保育の必要性を知らせるため、シンポジウム「子供の病気と保育を考える」を主催し、市医師会のご後援もいただきました。藤本先生、庄司先生の特別講演と、小児科医、保育園園長、行政担当者等によるパネルディスカッションの二部構成しましたが、定員180名の会場が満席となるほどの盛況で、病児保育に対する関心の高さが示されました。この場で行政より、「99年度にモデル事業として診療所併設型の病児保育所を1カ所設置する予定である」との発言があり、今年度予算として正

式に「乳幼児健康支援一時預かり事業」があげられるに至り、とりあえず本年7月より1カ所でモデル事業が開始される見込みとなっています。

今後の展望についてですが、行政としては、診療所併設型病児保育所の市内複数カ所設置を実現できればというビジョンがあるようです。一方で、医師会の中には、たとえ実現が何年先になろうとも、あくまでも理想的な内容で規模の大きな公設の病児保育所1カ所の設置を求めていくべきであるというご意見もあり、診療所併設型病児保育所がモデル事業化されることは望ましくないとのお考えも強くあるようです。現状では、千葉市の病児保育事業の展望はまだ明確な方向性が見えない状況です。私たち「親

の会」としては、各区に一カ所設置が早期に実現されるよう、今後も関係機関に積極的に働きかけていきたいと考えています。



## 乳幼児健康支援一時預かり事業 受託へのポイント

ぽけっと病児保育室 代表 宮田章子

「ぽけっと病児保育室」は、東京都立川市の北部にあり、国分寺市や小平市、国立市とも隣接しています。23区とは違い、子どもの人口も相対的には多い地域です。

1997年6月に、診療所併設型病児保育室「みやた小児科病児保育室」として開設、1年10ヶ月の運営後、今年の4月より立川市の委託事業として、補助金を受けられることになりました。名前もあらたに「ぽけっと病児保育室」となっての再スタートです。

開設から比較的日々浅いのに、補助金をうけられるようになった理由を考えると、3つあげられるかと思います。まず1つめは、メディアの利用です。開設時には、クリニックの院内報での患者さんへの周知、地元のタウン誌への掲載をしてもらいました。このことが新聞の地方版に載るきっかけとなり宣伝にもなりましたし、知名度もあがり、マスコミ

が自治体にも補助金のことで取材し、これが結果的には側面からの応援ということになりました。

2つめは、私が立川市の保育園の園医をしており、健診や予防注射などの健康支援事業に深くたずさわっていて、市の関係者とコミュニケーションがとりやすかったこと。

3つめは、医師会とのトラブルがなかったことです。医師会も理事をしていて会員の先生方にも説明をする機会に恵まれていたと思います。皆さんも御存じのように補助金は国、県(都)、市(町)の3つで負担されていますが、市が決定しないと補助金は出ないしくみになっています。このところの財政難でどの自治体も新規事業をはじめることが極めて困難な状況です。担当課にまず理解してもらい、予算請求してもらうところまでいくためには、陳情だけでなく前述のようないろいろなアプローチが必要と感じました。

### 病児保育室訪問⑥

#### カリタスの園乳児院つぼみ寮

乳児院つぼみの寮に隣接された赤ちゃん広場は4年前に宮崎県で最初にできた病児保育です。宮崎市は、人口31万人で市内の多くの医療機関のご理解を得て現在226名の登録があり、利用児は1260名に上っています。

特に水痘や流行性耳下腺炎の感染症が多いのですが、インフルエンザが流行した今年の1月は57名、2月は59名、3月は65名といつもの倍の利用があり4名定員で満室の事が多く5~6名の待機も珍しくありませんでした。保育室、隔離室、安静

#### 「赤ちゃん広場」



室は保母の季節ごとのかわいい飾り付けで家庭的な雰囲気になっています。ここを利用されるお母さん達から「育児ノイローゼになりそうだった時、両方の親に交代で看病してもらった時、いざ仕事を始めようと思っても子どもを預ける所がないと不採用になり途方に暮れた時に1日1000円の低料金で利用できる赤ちゃん広場の存在を知り安心して仕事を続けることができました。」という喜びの声を聞くたびに予想以上に進む少子化の子育てと共に働きの両立支援には病児保育は欠かせないものだと痛感し、

このようなすばらしい仕事に従事できる喜びとともに、責任を感じています。これからも「病気になつたら行く保育園」として地域に親しまれる様な赤ちゃん広場にしていきたいと思います。

#### <施設紹介>

- 1) 施設名 (社) カリタスの園乳児院つぼみ寮  
「赤ちゃん広場」  
代表者名 寮長 頭島康野
- 2) 住所 宮崎市吉村町沖ノ原甲1543  
連絡先 TEL 0985-24-2756  
FAX 0985-32-7098
- 3) 開設日 平成8年4月1日
- 4) 定員 4名
- 5) 対象年齢 0才～未就学児

6) 職員数 常勤看護婦1名  
非常勤保母2名



## 手作りおもちゃ

手作りのおもちゃを幼い頃から持つことにより、手触りの感触を味わうことで、心の豊かな子どもに育つてほしいと願い、6年前より布を中心に手作りのおもちゃを保育所全体で取り組んできました。一針一針縫う手作業は根気のいる作業ですが、子どもたちの喜ぶ姿や、一生懸命遊んでいる姿に励まされて、今では沢山の手作りのおもちゃが出来上がり毎日の遊びの中に活用されています。ベッド安静や室内安静の病児保育にも大変役立っています。

### 1. ブロック

フィルムケースの中に米や大豆や鈴を入れてベルクロの布で包み片方のふたの部分にマジックテープのザラザラを縫いつける。

### 2. お面

アンパンマンシリーズ

アンパンマン・バイキンマン・ドキンちゃん・ショクパンマン・カレーパンマン・メロンパンナちゃん・アカチャンマン

### 3. おなべブランコ

## 手作りおもちゃ

保育雑誌でみつけた手に優しい手作りおもちゃを作つてみました。ぶどうはタオル地でつくり、実の裏と芯にはマジックテープをつけてるので何度もつけはずしをすることができます。また、中に詰める綿も洗濯できるものを使用し、清潔に遊べるようにしています。

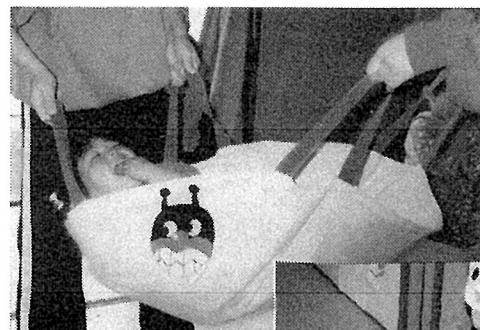
最初は、乳児向けにと思いつくりましたが、実際には幼児に人気があり、ぶどうの実をつけたりはがしたりして遊んだり、食べる真似をする中でお店やさんごっこに発展したり、実を全部はずして順番に並べ数をかぞえて楽しんでいる子どももいました。中には、実をはずして投げるのが大好きな男児もあり、遊びの幅を広げていました。また、男児、女児関係なく一緒に遊べる所も楽しかったようです。ごっこ遊びなどで何度も体験することで本物を食べるときにもおいしく食べることができそうです。

今度は鈴を入れるなどして0才児からでも興味が

## 隠岐共生学園

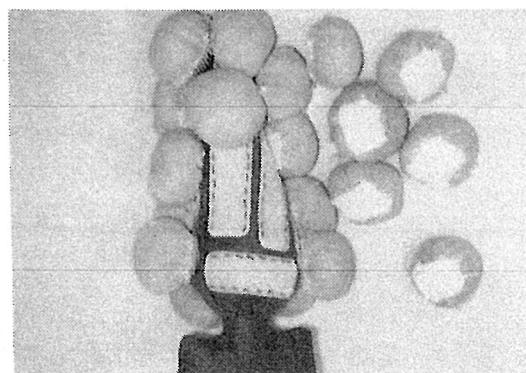
### 乳児保育所

丈夫な布を2枚重ねてお鍋の形をしたブランコの中に子どもを乗せて。



## ふくだこどもクリニック 中央橋こどもデイケア

もてる様なおいしそうなぶどうを作つてみようと思っているところです。また、皮のむけるバナナやトウモロコシなどにも挑戦し、子ども達にバラエティあふれる遊びを提供していきたいと思います。



(かけだし)事務局  
こぼれ話

昨年5月の総会で当院（藤本小児病院）院長が坂先生から引き継いで会長を拝命し、私共に事務局が移動しました。本当に言葉どおり「訳もわからないまま」のスタートで、前事務局・枚方病児保育室の堀田さんに電話しては微に入り細に入り教えていただきて、たいへんご迷惑をおかけしたと思います。頼りのない私のために「尻たたき役（総括）」として看護部長の大井が控えていてくれています。

そんなこんなの中、混乱も冷めないまま迎えた11月の研修会は予想を大きく上回る大盛況。反響の大きさに嬉しい悲鳴をあげつつ、開催当日までの1週間はほとんど徹夜で取り組みましたが、事務局の仕事を2カ所に分けたのは失敗でした。事務

が繁雑になり現地事務局にも混乱を招く結果になりました。エンゼル多摩・池田宏先生をはじめ川崎市医師会保育園医部会の先生方のご尽力で何とか成功裏に納めることができましたが、深く反省しています。

病院での秘書業務をこなしながらのこと、ついつい事務局業務を後回ししてしまうこともあります。焦って仕事をしようとすれば飼い犬に手をかまれる始末。（いえ、可愛がってた部下に裏切られたとか、そんな格好いいものではありません。パニックが伝染したのか、本当に私の犬が突然右手指を噛んだんです。裂けました。キシロカインスプレーを塗布しただけで受けたデブリードマンは気絶ものでしたよ。）昨日の失敗を良い糧として、よりよい運営の役に立てるよう、いつも半ベソかきかき走っています。どうぞ、この「かけだし事務局」をよろしくお願い申し上げます。

## 必携

全国病児保育協議会編（帆足英一監修）

**病児保育マニュアル**

病児保育に従事している保母・看護婦必携の「病児保育マニュアル」が完成しました。是非、一人一冊手元においてご活用ください。

病児保育を展開していく上での「保育看護」の専門性をいかに高めればよいか、その具体的な内容が記述されています。

●協議会加盟施設の場合

実費1,000円(送料実費)

●その他の場合

2,500円(送料込み)

●申し込みは全国病児保育協議会事務局まで

協議会ニュース 編集事務局

〒180-0003 武蔵野市吉祥寺南町1の19の2  
帆足 晓子 宛

FAX 0422-49-9752  
E-mail ehoashi@parkcity.ne.jp

原稿、イラスト大募集中！  
地域へのPRを兼ね、このニュースに原稿を寄せて、どんどんご活用ください。（原稿はお返しきませんのでご了承ください）

全国病児保育協議会事務局

〒870-0943 住所：大分県大分市大字片島83-7 藤本小児病院気付 幸 かな子  
電話：097-567-0050（代表） FAX：097-568-2970

—新規加入の全国病児保育協議会施設—

◆いわた医院

代表 岩田 光正  
〒174-0046

東京都板橋区蓮根2-1-3 メゾンN 1階  
☎ 03-3965-5070 FAX：同じ

◆阪神医療生協小中島診療所ギッズケアーハウス

代表 石丸 修  
〒661-0972

尼崎市小中島3-13-16

☎ 06-6491-7711 FAX：06-6491-3087

◆斎藤小児科内科クリニック

代表 斎藤 喜親  
〒202-0004

東京都保谷市下保谷4-2-21

☎ 0424-21-7201 FAX：0424-38-7557

◆小林医院

代表 小林 靖幸  
〒272-0815

市川市北方1-9-14

☎ 047-334-2525 FAX：047-334-9001

◆岡田クリニック

代表 岡田 純子  
〒759-4101

長門市東深川1858-1

☎ 0837-22-2717 FAX：0837-22-4530

◆ふじわら医院

代表 藤原 敬且  
〒745-0651

山口県熊毛郡熊毛町大字大河内256-14

☎ 0833-91-7100 FAX：0833-91-7101

これ以後の加盟施設は次号で